

綱 領 一、われわれは自己の研鑽につとめ、英知を養う。 一、われわれは社会に奉仕し、お互いの友愛を深める。 一、われわれは団結して中小企業の発展を図る。

平成15年度 テーマ 「人が人を考える、青年中央会」 30周年を「全員参加」で成功させよう

2004年の新しい年も始まり、社長として、企業のトップとして、新たな決意で「業績向上戦略」を起て、皆様が邁進しておられることでしょう。さて、15年度の東部青年中央会は30周年事業の「実行の年」であります。

今年度は全員参加を呼び声に、エモーショナルブランド「感動のある青年中央会」をキーワードにして、どんな青年団体になれば感動が得られるのか、今の時代に合った魅力のある会になるのか？東部では周年事業を構築すると同時に会の意識改革・源流強化を含めた周年事業の取り組みにチャレンジして

「30周年事業の実行の年」

感謝しております。

一番大切なのは
全会員皆さんの
協力でしょう。

会長 瀧本浩志



きました。会員間のコミュニケーション手法としてCI戦略を取り入れたことも大きな前進に繋がったものと確信しております。

会員皆さんの協力が最大の成功の秘訣です。

今年度、30周年事業の構築は最終の仕上げ段階に来ております。「記念式典、親子ふれあいスベシャル、中小企業発展スベシャルシリーズ講演会、その他」そして東部、中部、西部鳥取県青年中央会統一事業として「キヤッチフレーズづくり（CI事業）」にも取り組んでおります。周年事業を成功させるには、各委員会と周年実行委員会の連携も重要ですが、

かなりハードルの高い目標を掲げていますが、必ず実現したいと日々五感を働かせながら行動しております。これは青年中央会の周年事業に取り組んできて役員、会員皆さんのレベルの高さに驚き、影響されていることが大きなきっかけになっています。市位県会長をはじめ、浜田西部会長、中井中部会長、そしてOBとの交流も私にとって大きな財産になっております。本当に青年中央会に感謝しております。

今後とも、我々中小企業の発展に向けて皆様一緒にがんばりましょう。

最後に、今年度、私個人も会社の代表者としての

西部11月例会に参加して

総務委員会担当副会長 濱田 泰彦

平成15年11月17日、総務委員会は委員会活動の一環として西尾委員長を筆頭に総勢6名で西部例会に参加して参りました。今回の参加は、西尾委員長の年度当初からの希望で、是非他地区の例会を見学して東部の例会運営の参考にしたいとの思いからで、気持ち良く参加を了承して頂きました西部の皆様には、深く感謝致します。今回はオープン例会でしたが、運営等、同じ例会でも少しずつ違いがあり、我々としましても大いに参考になりました。

講演会では講師の日野病院院長、堀江裕氏の時間を大延長してお話（歌？）に会場大いに沸かせて頂きました。演題のキーワード「健康」どおり、帰りは心が少し元気になったような気がしましたよネッ、委員長！



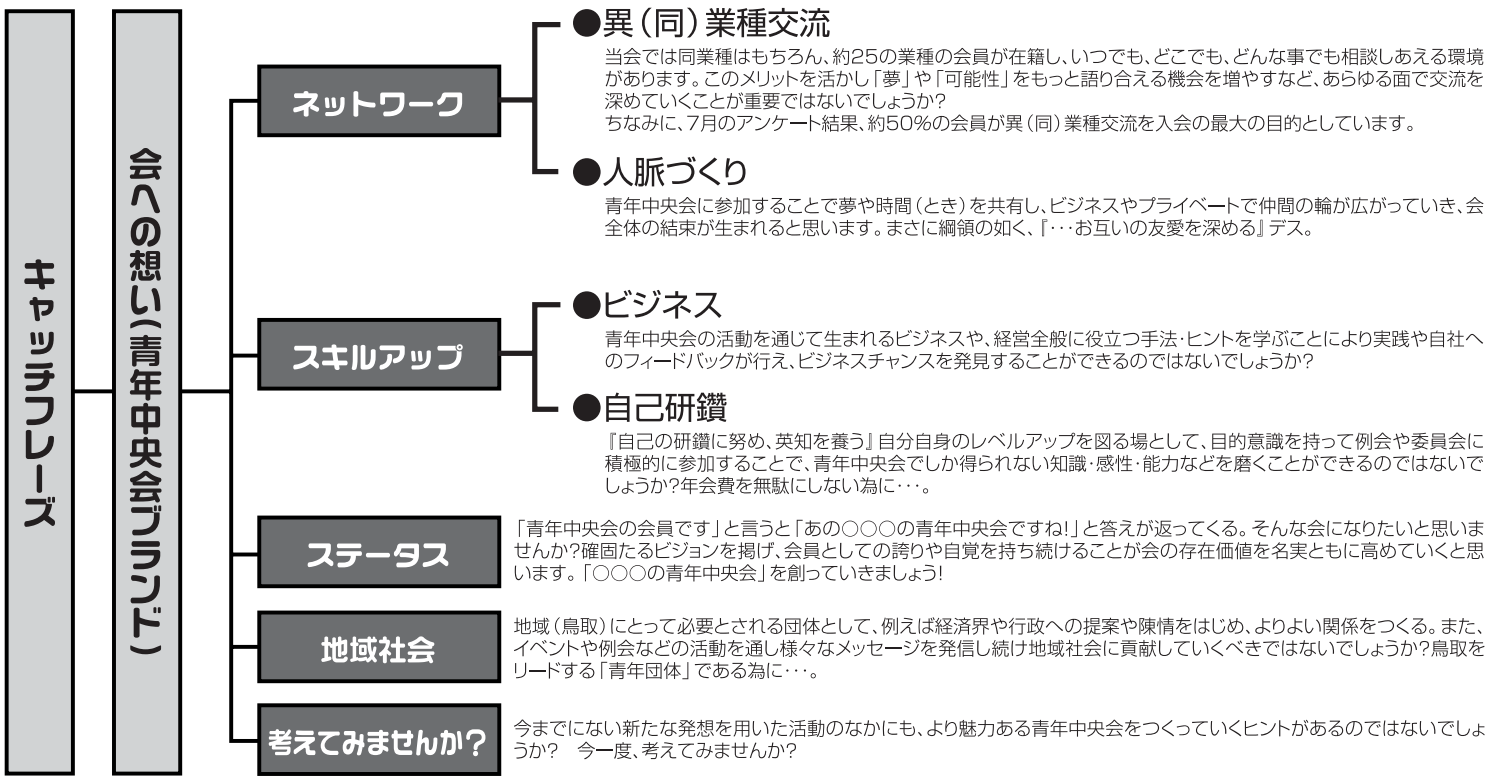
「キャッチフレーズ」募集のごあんない CI委員会より



前略
 昨年より進めてまいりました。鳥取県中小企業青年中央会の各地区統一事業「キャッチフレーズづくり」がいよいよ大詰めを迎えてまいりました。会員の皆様から、「キャッチフレーズ」を募集し、最終的に「人気投票」で新・キャッチフレーズを決定するというものです。当会を総称する「キャッチフレーズ」の作成に向け、皆様のご参加とご協力をよろしくお願いいたします。

■キャッチフレーズづくりのフローチャート

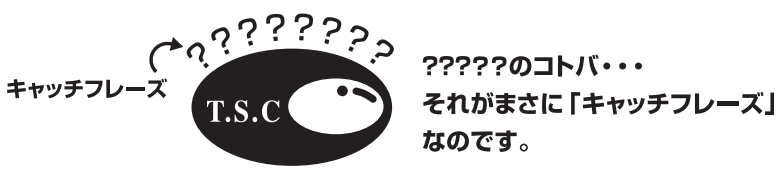
昨年末、会員の皆様にご協力いただきました「アンケート」の結果を、CI委員会でまとめました。今後、当会が進んでいく方向、あるいはやらなくてはならないことなど、何かヒントが隠れているような気がします…。キャッチフレーズづくりの参考に活用していただければと思います。



重要 **キャッチフレーズの応募方法について**
 インターネット応募限定! **キャッチフレーズの応募は、インターネット (WEB応募のみ) 限定といたします。**
 その方法は、東部青年中央会ホームページより「**キャッチフレーズ応募画面**」に進み、必要事項を入力していただきます。応募点数はいくつでもOKです。 **応募締切: 2004年2月25日**
キャッチフレーズ応募ホームページアドレス: <http://www.tsc21.gr.jp>

キャッチフレーズって?

例えば、下記のように「あしたのもと」味の素や「地図に残る仕事」大成建設などのような感じです。



2月中旬・キャッチフレーズの募集
 会員の皆様から「キャッチフレーズ」の募集を行います。「キャッチフレーズ」および「意味・なぜこのキャッチフレーズなのか!」を記入していただきます。応募は、当会ホームページからのみ応募可能です。

↓ 鳥取県青年中小企業中央会・各地区でそれぞれ募集いたします

2月下旬・キャッチフレーズ募集締め切り
 ↓ 集計を行い、各地区合同で人気投票キャッチフレーズを決定します。

3月・人気投票の開催予定
 キャッチフレーズ案の中から全地区・全会員で人気投票を行います。

↓ 人気投票で、最多得票のキャッチフレーズを「新キャッチフレーズ」に決定!

4月・新キャッチフレーズ発表予定!
 新しいキャッチフレーズが決定→4月例会時に全地区で発表予定!

楽しかったよ

クリスマス例会



例会報告

12月例会 クリスマス家族例会



国際交流委員会委員長 細砂修二

12月クリスマス例会担当をしました国際交流委員会、細砂です。今年のクリスマス例会では、毎年恒例のハンマープライスを、各委員会ごとの単位で司会進行していただき、出展商品の説明 会員の紹介などあり、とても良かったと思いました。また今回のゴスペルオープンの歌はどうでしたでしょうか？クリスマスにちなんだきれいな歌声ではなかったでしょうか！裏方として参加しいろいろ手落ちがありました、皆様のご協力です。ありがとうございます。

クリスマスにちなんだきれいな歌声ではなかったでしょうか！裏方として参加しいろいろ手落ちがありました、皆様のご協力です。ありがとうございます。



国際交流委員会担当副会長 井上法雄

12月18日クリスマス例会当日児島会員の12月クリスマス例会開催の発声は、気力に満ちた国際交流委員会の2003年を締めくくる最後の担当例会にふさわしい司会であると感じられました。思い起こせば9月の例会での準備不足による当日の不手際。やはり、担当の人間だけでなく『全員参加』で二重三重にもミーティングを重ね、自分たちが作り上げる例会という『思い』が重要であると再度認識いたしました。会員同士の『きずな』は、それが苦労であればあるほど強くなり新しい青年中央会を形作る源ではないかと国際交流委員会の皆様にご教示されました。国際交流委員会の皆様ご苦労様でした。そしてありがとうございました。この例会が失敗したら青年中央会をやめるという細砂委員長の言葉が『...それって僕が国際交流委員長も兼任??』ほっと胸をなでおろす井上副会長でした。

国際交流委員会担当副会長 井上法雄
12月18日クリスマス例会当日児島会員の12月クリスマス例会開催の発声は、気力に満ちた国際交流委員会の2003年を締めくくる最後の担当例会にふさわしい司会であると感じられました。思い起こせば9月の例会での準備不足による当日の不手際。やはり、担当の人間だけでなく『全員参加』で二重三重にもミーティングを重ね、自分たちが作り上げる例会という『思い』が重要であると再度認識いたしました。会員同士の『きずな』は、それが苦労であればあるほど強くなり新しい青年中央会を形作る源ではないかと国際交流委員会の皆様にご教示されました。国際交流委員会の皆様ご苦労様でした。そしてありがとうございました。この例会が失敗したら青年中央会をやめるという細砂委員長の言葉が『...それって僕が国際交流委員長も兼任??』ほっと胸をなでおろす井上副会長でした。

例会報告

10月例会を終えて

まずは、テーマ「ようこそ ようこそ ありがとうふちくわ」サブテーマ「しとんさるか鳥取自慢」、今晚はの替わりにこんにちくわと言われ、この題材で何を始めるのだろうかと思われた会員の方も多かったのではないのでしょうか。また、これに輪をかけたように講師入場ではカブリ物を被り入場され、鼻からとうふちくわを出すやいなや講演がスタートしました。講師の方は鳥取観光コンベンション協会の植田英樹観光プロデューサーです。

今年度の大きなテーマでもありますC Iについて、9月例会に続いて第二弾とし、観光論からみた鳥取C Iについて講演をして頂きましたが、皆様如何でしたでしょうか。

植田氏いわく鳥取の全国イメージが「マイナー」な県であるが、逆に鳥取だからこそ出来る鳥取で暮らしている鳥取人だからその面白さ、情報が出せる、この事を継続して行く事こそがC Iではないだろうかと言われていました、我がT S Cでもますます自慢の出来るようなC I団体になるよう、皆様知恵を出し合ひましょう。ありがとうございました。(広報委員会委員長 山本典浩)



例会報告

1月新年例会を終えて

IT委員会担当の初めての例会が、この1月新年例会でした。来賓・OBの方々が多数出席される例会であり、新年早々の例会ということでも現役会員の懇親・交流にも大切な機会であることを考えると、どうしても成功させたい！出席された皆さんにいい会だったなあって感じて頂きたい！その思いだけで責任者を務めさせて頂きました。

結果、会員出席率は80%に届かず、ビール・ウイスキーが足りなくなったり、タクシーの送迎が段取り通りいかなかったりとご迷惑をおかけしましたが、まずは大過なく終了することができたのも、皆様のご協力があればこそと感謝の気持ちで一杯です。本当に有難うございました。(広報委員会 山本委員長・今岡副委員長に拍手！)

今後はホームページの完成と、4月の手作り例会に向かって、IT委員会一丸となって頑張ります。(IT委員会委員長 麻生聖史)



第55回中小企業団体全国大会参加報告

平成15年10月30日(木)東京の渋谷公会堂において、中小企業団体全国大会が開催されました。今回は東京開催ということで地方開催に比べるとあまり大きくはなかったのですが、内容は濃いものになりました。というのも時の内閣総理大臣 小泉純一郎、経済産業大臣 中川昭一、日本の政府を代表する方々が参加され中小企業に応援のエールを送っていただきました。貴重な体験をさせていただきました。

我が東部青年中央会は瀧本会長以下8名参加しました。中部から4名、西部から17名、合計30名の参加になりました。また前日に懇親会を開催いたしました。今回は東部が幹事を勤め渋谷駅近くの和風居酒屋におきまして市位清明県会長の挨拶に始まり盛大に行われました。来年は11月11日(木)新潟県での開催になります。(県出向理事 谷口昌弘)

平成15年度鳥取県中小企業青年中央会経営研修会

平成15年11月19日に米子市の「米子ワシントンホテルプラザ」に於いて15年度の県経営研修会が開催されました。東部は総勢36名の参加でした。開会后、平井伸治鳥取県副知事による「進化」する地方自治と題して基調講演が行われ、その後、パネルディスカッションが「企業と自治体の連携」と言う内容で行われました。終了後、懇親会となり各地区会員がバラバラに、テーブルに分けられゲーム等で懇親を深めました。アトラクションでは、航空自衛隊美保基地和太鼓クラブの方による豪快な演奏を聞き、大津直前県会長による中締めでお開きとなりました。



(県出向理事 櫻井幸浩)

例会報告

11月例会を終えて

11月例会では、鳥取市の国際交流員の、イサベル・ハーターさん(ドイツ人)をお招きしての国際例会でした。内容としては、『企業としての環境問題、ドイツの環境対策』を御講演頂きました。他国の環境問題に対するとりくみを見たようでした。

また、11月例会には西部の中央会より、中本副会長、松浦委員長、野口副委員長に御参加していただき有難うございました。(国際交流委員会委員長 細砂修二)



西部会員の皆さん大変お世話になりました。

INFORMATION

●臨時総会・3月例会●

3月18日(木)PM18:30~
ホテルニューオータニ鳥取

●4月例会●

4月15日(木)PM18:45~
ホテルニューオータニ鳥取

●第3回フラワーフェスティバル IN湖山池●

4月17日(土)AM9:00~
湖山池お花畑ゾーン

●新社屋落成●

国際交流委員会 児島 聖仁
IT委員会 勢木 直志

おめでとうございます。